

考える楽しさのある漢字学習のあり方とは

語彙を広げ表現を豊かにする漢字学習へ

大阪・堺市立大仙小学校

漢字の活用方に
学力向上推進委員会を
立ち上げ、宿題や家庭
学習のあり方を議論し
てきた。漢字学習も見
直し対象の一つで、
習った熟語をどのよう
な意味でどのような
文の中で使うのか、子
どもたちに意識させる
ことが課題だった。機
械的な繰り返し学習で
は、せっかく覚えたも
文章の中で漢字を活用
する力につながってい
なかつた。山口陽平
主幹教諭は振り返る。
同校は一昨年度から

「人を思いやる心豊
かな子、聴き合い学び
合う」に喜びを感じ
る子、しなやかな心と
体の育成」を学校
教育目標とする堺市立
大仙小学校(原宏江校
長、児童数477)。特に
「学び合う」に重点
を置き、人の話を聞き
自分の考えを述べるこ
とを通して探究的な学
びにつなげている。

「漢字のとびら」を学習
に活用することとなっ
た。たまたま、
「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、
「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

「人を思いやる心豊
かな子、聴き合い学び
合う」に喜びを感じ
る子、しなやかな心と
体の育成」を学校
教育目標とする堺市立
大仙小学校(原宏江校
長、児童数477)。特に
「学び合う」に重点
を置き、人の話を聞き
自分の考えを述べるこ
とを通して探究的な学
びにつなげている。

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

漢字学習は繰り返すから、 考えて覚えるへ

新たなコンセプトのもと、明星大学教授(元筑波大学附属
小学校教諭)の白石範孝氏らが企画・監修した漢字学習帳
「漢字のとびら」は、発刊から4年目を迎えた。「主体的・対話
的で深い学び」の視点からの授業改善が求められる中、思考
力や判断力、表現力を育み、家庭学習を促す教材として注目
される。今年度導入した2校を取材した。

漢字学習を通して 自ら学び取る力を育む

広島・福山市立西小学校

教材の全面見直しで
今年度より導入

福山市立西小学校
(小島八重校長、児童数
419)は「主体的に学
ぶ児童の育成を学校
教育目標に、授業改善
を進めている。

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

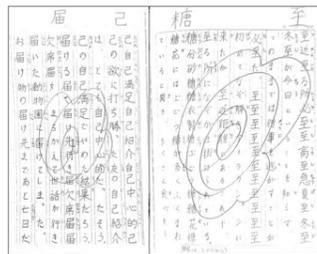
「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、



国語係の作った漢字問題に挑戦



1文字を丁寧に書くようになった



覚えた漢字で作文を書く宿題

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

ミスが減り 定着率も上がる

今年度、使っていた
感性として「だいたい
は書ける」「惜しいと
ころで間違え」といっ
たミスが減ったといっ
た。たまたま、

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

「漢字のとびら」を踏む
えるステップを踏む
に活用することとなっ
た。たまたま、

コロナ休校中の 家庭学習に活用



岡川知笑教諭、小島八重校長、菊石香織教諭

漢字のとびらを使い
始めてから、子ども達

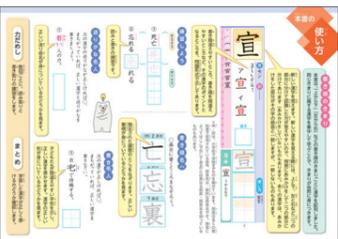
「考える」ことを大切に、楽しく漢字を学ぶ。

白石式考える漢字学習帳

『漢字のとびら』



「きまりがみにつく漢字のとびら」小学1~6年生:年間1冊/定価 各850円(税込)



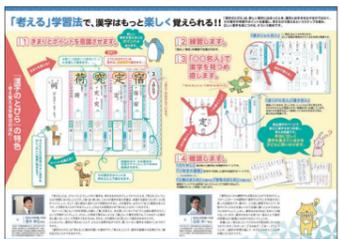
白石 範孝 明星大学教授(元筑波大学附属小学校 教諭)
「考える」楽しさを新しい漢字学習帳で
「国語は好きだけど漢字は嫌い」という声をよく耳にします。
漢字学習は、「お手本を見て繰り返し書いて覚える」という方法が一
般的です。
しかし、漢字にはさまざまな「きまり」があります。漢字のきまりを理解
し、活用することで繰り返し書かなくても漢字は正しく覚えられます。
「漢字のとびら」では、漢字のきまりを知り、書き順や間違えやすいと
ころを児童に意識させてから書かせます。さらにひとつの漢字を見て、
正しいか、正しくないかを自分で判断し、正しくなければどこが違うの
かを、明確に指摘できるように問題を設けました。自分で「考える」学
習、「考える」活動を大切に、漢字を楽しく学べるようにしたいと願
ってこの教材をつくりました。

青木 伸生
筑波大学附属小学校 教諭
漢字を通じた「思考のプロセス」が身に付
くと、子どもたちは正しく書いて他の漢字
との共通点が見えてきます。漢字を見る目
は考える力につながります。

白坂 洋一
筑波大学附属小学校 教諭
漢字のきまりを見つけ、知ることで漢字
の学習はより容易になります。「わかった!」
「そうか!」こんな声が、子どもたちから漢
字の学習を通して聞こえてきそうです。



「漢字のとびら」小学1年生:年間1冊、小学2~6年生:各上下巻/定価 各460円(税込)



※本教材は、光村図書(国語)を参考にして作成しています。
※各学年、上下巻ともに「確認テスト」をHPにご用意しています。ご利用の際は専用のID、パスワードが必要です。

内容詳細につきましては、ご審査用見本をご覧ください。
ご請求は右記まで▶

お問い合わせ

TEL 03-3304-5314 FAX 03-3304-5010
WEB <http://www.next-edu.or.jp>



企画

次世代教育推進機構
for Education of Next Generation

発行・販売

教育開発出版株式会社